

# 連結中期サステナビリティ計画 (2018-2022年度)

当社グループは、コスモエネルギーグループ理念に掲げる「持続的発展」を実現するため、第6次連結中期経営計画と連動する形で、連結中期サステナビリティ計画(以下、サステナビリティ中計)を策定し、実行しています。

サステナビリティ中計においては、グループ経営基盤の強化に向けサステナブル経営を推進し、SDGs実現に貢献すべく活動を行っています。その一環として、マテリアリティのリスクと機会を特定し、マテリアリティのめざす姿の実現に向けたさまざまな取り組みを実施しています。

2021年度は現サステナビリティ中計のKPI実現のための活動を実行しつつ、新たに特定したマテリアリティに対する課題解決と機会の増大に向け、次期中計の策定を行っています。

## 現サステナビリティ中計が貢献するSDGsの目標



※ 新たに策定したマテリアリティが関連するSDGsの目標とターゲットの整理は、本年度は取り組んでいます。

## 2020年度サステナビリティ関連トピック

### TOPIC 1

サステナブル経営における理念体系の整備を行い、「サステナビリティの基本的な考え方」を定義し、公開しました。

詳細はP59

### TOPIC 2

ESG関連の方針・指標の討議機関として、サステナビリティ戦略会議を新設しました。

詳細はP60

### TOPIC 3

2050年カーボンネットゼロを宣言しました。TCFDに署名し、シナリオ分析を行っています。

詳細はP27

マテリアリティ	リスクと機会	主な取り組み内容	新たなマテリアリティに該当する現サステナビリティ中計の評価指標
<p>持続的な価値創造のためのマテリアリティ</p> <p>事業継続のための基盤となるマテリアリティ</p>	<p>● リスク ○ 機会</p> <p>● 異常気象の影響による操業または出荷の停止、給油所の営業停止</p> <p>● 気候変動の物理リスク対策への多額の費用負担または投資コスト増</p> <p>● 炭素税導入による費用負担の増加</p> <p>● 脱炭素社会への対応の遅れによる企業価値の低下</p> <p>● 脱化石燃料の進展による燃料油需要の減退</p> <p>○ 災害時のエネルギー安定供給によるステークホルダーからの信頼の獲得</p>	<p>▷ 2050年カーボンネットゼロ宣言達成に向けたロードマップの策定、2030年削減目標の見直しの検討</p> <p>▷ TCFDへの賛同およびシナリオ分析の実施</p> <p>▷ サプライチェーン供給体制の強靱化</p> <p>▷ 内部炭素価格の導入</p>	温室効果ガス排出量の削減
	<p>● 技術進展等に伴う低価格代替燃料の普及による石油製品の競争力の低下</p> <p>● EV技術の進展によるガソリン需要の減少</p> <p>○ 再生可能エネルギーの事業機会の増大</p>	<p>▷ 新規クリーン技術開発の検討</p> <p>▷ 風力発電事業の拡大、洋上風力発電事業への参入</p>	※当マテリアリティのKPIは次期中計に向け策定を進めています
	<p>● 規制強化によるコスト増</p> <p>● 石油製品の脱炭素化</p>	<p>▷ バイオガソリン(バイオETBE配合)供給への取り組み</p> <p>▷ バイオジェット燃料(SAF)供給への取り組みの検討</p>	※当マテリアリティのKPIは次期中計に向け策定を進めています
	<p>● 金融・政情不安、景気の急変動等による既存事業の強靱性の低下</p> <p>● 市場変化や政策への対応の遅れによる事業採算性の低下</p> <p>● 技術革新への対応の遅れによる主要事業の競争力の低下</p> <p>○ 新規事業の収益化による事業基盤のアジリティ確保</p> <p>○ 技術変化への早期対応による競争優位の獲得</p>	<p>▷ 再生可能エネルギー事業等、次代の成長を担う投資の実施</p> <p>▷ 給油所へのEV用急速充電器の設置</p> <p>▷ 再生可能エネルギーアグリゲーション実証事業への参画</p> <p>▷ 地域創生、地域との協働における事業の機会の検討</p> <p>▷ 実証事業への参画</p> <p>▷ グリーン成長戦略14分野における事業機会の検討</p>	※当マテリアリティのKPIは次期中計に向け策定を進めています
	<p>● 従業員および協力会社の労働災害被害</p> <p>● 製油所、物流基地および油槽所等の事故、操業停止</p> <p>● 労働紛争</p> <p>○ 従業員の離職防止、定着化</p>	<p>▷ 労災件数、製油所等の度数率・強度率の実績管理</p> <p>▷ 再発防止策や労災件数低減の取り組みをグループ内で共有</p> <p>▷ 労災の定義と責任所在の明確化</p> <p>▷ 全国安全週間に、社長メッセージをグループ内に発信</p>	健康増進 長時間労働の削減
	<p>● 人材不足に対する採用コストの上昇</p> <p>● 多様な人材不足による競争力の低下</p> <p>○ モチベーション向上による企業成長</p> <p>○ イノベーションが起きやすい環境の醸成</p> <p>○ 優秀な人材確保、定着化を促進</p>	<p>▷ 女性管理職比率、採用女性比率をKPIとして優先的に選定</p> <p>▷ 育児、介護支援制度の充実</p> <p>▷ 健康診断受診率と総労働時間をKPIとして選定</p> <p>▷ 公平かつ透明性のある評価制度</p>	女性採用比率/女性管理職比率の伸長 障がい者法定雇用率遵守の促進
	<p>● 法令違反による行政処分</p> <p>● 顧客からの信頼の失墜、ブランドイメージの低下</p> <p>○ 健全な企業風土の醸成</p>	<p>▷ 企業行動指針の浸透</p> <p>▷ 倫理意識の醸成を目的とした企業倫理研修の実施</p> <p>▷ 従業員意識調査による現況把握</p>	CSR調達の展開 研修の実施
	<p>● コンプライアンス違反による信頼の失墜</p> <p>● 損害賠償責任や罰金の課金</p> <p>● 法令違反による行政処分</p>	<p>▷ 企業行動指針と規程類の整備</p> <p>▷ 内部統制システムの整備、運用および強化</p> <p>▷ 内部通報制度の整備</p>	コンプライアンス違反の防止
<p>● 予期せぬ障害、損失、組織の機能不全</p> <p>● 事故、災害時の被害の拡大、復旧の遅れ</p> <p>○ 適切なリスクテイクによる競争力の向上</p>	<p>▷ グループ各社のリスク管理</p> <p>▷ グループ全体に係る全社リスクの選定と対応</p> <p>▷ リスクマネジメント研修の実施</p>	全社リスク管理の徹底	
<p>● 事故や労働災害による製油所、物流基地および油槽所等が操業停止</p> <p>● 給油所、タンカー、ローリーの事故および災害による事業継続障害</p> <p>○ 企業価値の向上</p> <p>○ 災害時のエネルギー安定供給によるレピュテーションの向上</p>	<p>▷ 企業行動指針や「コスモ石油安全の日」の設定による安全文化の醸成</p> <p>▷ 操業マネジメントシステムの導入、高度化</p> <p>▷ 千葉製油所の高圧ガス保安法における特定認定事業者(スーパー認定事業者)の認定</p> <p>▷ 災害時の石油製品の安定供給を目的とした、系列サプライチェーンBCPの構築、高度化</p>	労働災害の発生防止 重大事故の発生防止 重大製品(品質)事故の発生防止	

※より詳細な内容は、当社WEBサイトをご覧ください ※新マテリアリティのKPIは、次期中計に向け策定を進めています。